

福島県 教育新聞

発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 瀬戸 禎子
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
http://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)

総合共済
業務中や日常生活の
賠償リスクの備えに!!
(自転車保険としても役に立ちます)
随時募集中
教職員共済

組合だから本音が言える。 だから分会・職場づくりが大事! みんなで仲間を増やそう!!

～県教組第101回定期大会開催～

5月31日、2019年以来の対面開催で第101回県教組定期大会を開催しました。各支部からの代議員が結集し、大会を進めました。

日教組菊池女性部長、公務員共闘と県平和フォーラムから澤村自治労委員長、澤井和宏福島市議、神山悦子県議からあいさつをいただきました。質疑は11本出され、討論は19本ありました。人員不足が深刻化している実態、1つの分

会で4人の加入があったこと、給特法改正案の問題点についてなど、本部原案を補強する討論に力をもらいました。

その後、本部原案が賛成多数で全て可決され、終了しました。今後は、可決された方針に向けて、県教組の分会・支部・本部が一丸となって運動を進めていきたいと思ひます。

主な討論内容

- 東白支部は小さい組織だが、オンラインなどを活用しながらつながりを持っている。西白・石川支部と合同で学習会を行い好評。加入にもつながった。組合は自分を高められる場として、前向きなとらえも。今後も加入したくなるような取り組みを進める。(東白)
- 福島市の未配置状況。ある学校では10人未配置。育児短時間勤務が学級担任を持つ学校も。また、10人転出したのに6人しか転入してこない。教頭の勤務も夜2時までなることも。学校の現状を維持することによっていっばいでそれ以上は無理と語る校長も。教育行政が責任を果たさず、成果を求める現状。(福島伊達)
- 組合員数を増やしている小学校について。加入した4人中2人は東京と川崎市での経験者。東京は序列化が進み、職員会は上からの指示命令。川崎は加入率の高さもあり、東京と対照的。東京は問題意識から、川崎は現在の環境を守ろうと加入につながっている。(耶麻)
- インフルエンザが病休かどうかわからない校長の存在に驚き。校長により働き方改革の取り組みにも差がある。若者を辞めさせないよう職場で頑張っている。初任研の研究授業をほぼ毎月行い、参観者も補欠を組んで参加。今年は若干解消したが、産休に入る職員の補充は入らない。働き方改革のさらなる推進を。(相馬)
- 事務職員の初任者が入った。新しい仕事でだいぶ時間がかかっている様子。事務職員の先輩の体験談を聞いて、この仕事をめざしたそう。しかし現実には長時間労働。自分も職員会議で業務見直しを提案したが孤軍奮闘。オルガナイザーが事務職員とつながりがあることが分かった。仲間づくりが働き方改革の力になる。(石川)
- 「はじめての防衛白書」について。支部として、学校での活用の問題があることを市議や市教委へ伝えた。市教委は判断もなしに国や県の指示通りにする状況になっている。(耶麻)

教職員組合定期大会



各支部の代議員の皆さん、大会への参加、討論など、本当にありがとうございました。



議長・議運のみなさん



吉田書記次長の ふくしまオルグ紀行⑭



2024年度、県教組には70人をこえる方に新たに加入していただきました。
「仲間とつながりたい」・「自分の力をさらに高めたい」・「働く環境をよりよくしたい」・
「他県採用の時にも入っていた」 加入してくださった方の思いはさまざまです。加入し
てくださった方々にお話をうかがいました。

Oさん（北会支部・小学校教員）

①「組合に入ろう」と思ったきっかけは？

「同期採用の仲間が組合に入っていて、青年部の行事に参加した話を聞いて興味をもちました。2校めに異動し、今の職場に対して疑問をもちはじめ、何かを変えたいと思うようになりました。」



②今のお仕事をめざしたきっかけは？

「人の成長に携わりたいと思っていました。自分自身も、学ぶことが好きだったので。」

③これから、どんな学校（職場）になってほしいと考えますか？

「今よりも業務量が減り、早く帰れる学校であってほしい。時間の余裕がある（教材研究に時間を費やせる）学校になってほしいです。」



2校めに異動した方が、大きな分掌を当てられるケースは多いです。2校めの職場に異動して感じた初任校との違いも、Oさんが組合に加入するきっかけだったそうです。青年部の行事にも参加することで、「仲間とのつながり」を感じてくれているOさん。今年の新採用の方にも声をかけてくれています。

Iさん（田村支部・小学校教員）



①「組合に入ろう」と思ったきっかけは？

「県外の学校で働いていた時にも組合に入っていました。福島に採用になり、継続して入りたいと思ったので加入しました。」

②今のお仕事をめざしたきっかけは？

「中学の頃、自分とあまり合わない先生がいました。その経験が『子どもの夢を育てる教師になりたい』という思いにつながりました。今はその先生に感謝しています。」

③これから、どんな学校（職場）になってほしいと考えますか？

「職員室を見ると、沈んだ顔をしている先生を見ることがあります。笑顔のあふれる学校になってほしいですね。」

他県での経験が長かったIさん。Iさんのように、他県の組合での経験が加入につながるケースも多くあります。（※わたし吉田もそのひとりです。）採用後すぐの6年生担任とのことでしたが、職場でも大活躍されていると同僚の組合員さんから伺いました。

『子どもの夢を育てたい』というIさんの思い、とても素敵だなと感じました。



周囲に組合加入を勧めたいけど、「組合費が…」と言われてしまうこと、あると思います。

はじめて組合に加入してくださった方は、**加入から1年間の組合費が無料** になっています。

（正規採用の方のみ。臨時採用で加入された方は、正規採用となってから1年間が対象期間となります。）

無料措置の間であっても、学習会などでの旅費支給の対象となります。加入してくれた方が「入ってよかった！」とってくれるよう、みんなで力を合わせていきましょう！

給特法などの改正法成立！どう変わる？なにが問題？

6月11日の参議院本会議にて、教員給与特別措置法（給特法）などの改正法が可決、成立しました。特に教職調整額の引き上げは、1972年の給特法施行後初めてという事もあり報道等でも大きく取り上げられました。しかし、実際はそれ以外にも多くのポイントがあります。

ポイント	○△×
「教職調整額」の支給率を4%から段階的に10%に引き上げる 年1%ずつ？10%でも残業代としたりわずかに16時間分。しかも他の手当は引き下げに…	○ 50年以上ぶりの改善 △ 年1%ずつの改善 × 時間外労働の現状と見合わない水準 × 幼稚園教諭は引上げの対象外(継続的なフォローアップが附帯決議に明記)
自治体に「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定・公表を義務付ける。	○ 計画に関して都道府県教委が指導・助言することが努力義務に ○ 秋ごろ新しい指針が公表される予定
教員間の総合的な調整役として「主務教諭」を置けるものとする 先行事例では他の職の給与引き下げにつながったところも。仕事を押し付ける先になるのでは？	△ +6,000円程度 △ 教職員間の調整や若手のサポートを目的に △ 設置は自治体の判断による(必ずではない) × 他の校務が軽減されるわけではない(それまでの業務にくわえて)
学級担任に対して手当を加算して支払う 複数担任制などではどうなるの？「手当をもらってるんだから」と仕事の押し付けや職場内孤立につながる心配も。	△ +3,000円程度 × 一方で削減される手当や調整額 (義務特手当：2/3 特別支援調整額：1/2 多学年学級(複式学級)手当：廃止)
残業時間の月平均を2029年度までに30時間程度とする 持ち帰り残業や休日の部活動、休憩時間の状況も含めた、より正確な調査になる？	△ 「30時間まではOK」という誤解を生まないように注意 × 中教審答申では「20時間」と掲げられていた
公立中学校で26年度から「35人学級」を導入する	○ 中学校における定数改善

給特法は、成立当初「教員の健康と福祉の確保を図るため」のものでしたが、現在では無制限の労働を認めるものとなっています。今回の改正だけでは明らかに不十分であり、根本的には給特法の廃止をめざすべきですが、それに向けた足掛かりとして一歩踏み出すことはできました。しかし、私たちの働き方改革はようやくスタートラインに立ったところです。

衆参両議会での議論では、私たちが日ごろから感じている「過重労働」、「教職員不足」などの学校現場の実態について、日政連議員*を中心に引き上げ、改善への道筋を示しました。そもそも今回の議論のきっかけになったのも、日政連議員による給特法の不備の追求からでした。

7月には参議院選挙が行われます。今回の給特法改正で、多くの附則をつけ可決させることができたのは昨年の衆院選の結果(野党勢力の拡大)によるところが非常に大きいです。現政権下では給特法の廃止を含む根本的な解決はできません。継続して働き方改革をはじめとしたさまざまな課題の解決を進めるためには、私たち教職員の考えや学校現場の実態を国政へ生かしてくれる、日政連議員を中心とした勢力の拡大が必要です。学校現場の厳しい状況を一番知っている私たち。政治に関心を持つことの大切さを子どもたちに伝えるためにも、忘れずに投票に行き、私たちのYes/Noをもとに政治と教育を変えていきましょう！

日政連とは…日教組の政治組織として発足した政治団体。「日本民主教育政治連盟」の略。国会議員8人、自治体議員約200人が所属。国会議員は衆院文科委員、参院文科委員としても活動。

詳しくはこちら→



被爆80周年
原水禁世界大会福島大会

7/26(土)
13:00~16:30
パルセいいざが



今年はシンポジウム形式開催です。

基調講演
「原水禁と原発反対の歴史(仮)」
広島原水禁 金子 哲夫さん

参加ご希望の方は、**各支部まで**お問い合わせください。

日教組
母と女性教職員の会

8/1(金)
10:00~16:00
日本教育会館

締切 7/10 (木)

テーマ
「子どもたちに平和な未来を
~護ろう憲法~」

講演
「紛争地に生きる人々の声」
国境なき医師団 看護師
白川 優子さん

参加ご希望の方は、**福島県教組まで**お問い合わせください。

日教組
**両性の自立と平等を
めざす教育研究会**

8/2(土)
10:00~16:00
日本教育会館

締切 7/10 (木)

テーマ
「ジェンダー平等教育をすすめよう」

講演
「世界基準の包括的性教育を
学び実践しよう!(仮)」
なんでないのプロジェクト
福田 和子さん

参加ご希望の方は、**福島県教組まで**お問い合わせください。

は学校です! Monster



第56次福島県教組

学校事務研究集会を開催します!

10月4日(土) 10:30~16:00

※17:00~交流会を予定しています。

福島県教育会館 福島市上浜町10-38

申込締切
9月19日
(金)

基本テーマ

「子どもの学習権保障をめざす学校事務の確立を」

サブテーマ

「未来をみつめ、つくりだそう私たちの学校事務」

情勢報告

日教組事務職員部長 中島 康晴 さん

今年はワールドカフェ方式での意見交流会を行います。参加者みんなでフラットに、悩みも愚痴も課題解決も共有しましょう!

後日、案内のチラシを分会へお届けします。みなさんの参加をお待ちしております!



みんなのひろば ~相馬市 中村松川堂 花もち~

戦後、パン作りから始まり、今では和菓子はもちろん、洋菓子も幅広く取り扱っている街のお菓子屋さん、松川堂さん。先代からの「質の良い吟味された材料で、美味しいと喜んでもらえるお菓子を」という思いを引き継いで、伝統を大切にしながら新しいお菓子作りに励んでいるそうです!

春には花もち(右写真)で季節を感じ、一年を通してかしわもちもいただけます! みなさんもぜひたくさんのお菓子を楽しんでください。



(相馬支部 Yさん)

公務員連絡会 2025人勤期ネット署名行動についてのお願い

公務員連絡会は2025人勤期のとりくみについて、「長引く物価高騰のもと、真に生活改善につながる賃金の引上げを掲げた春季の取組をさらに強化し、地域・中小の春闘及び全印刷・全造幣における新賃金交渉の動向を注視・支援しつつ、昨年を上回る賃金の引上げを獲得する」ことを目標に、交渉による賃金・労働条件の決定を基本的課題と位置づけとりくむ方針を決定しました。

福島県教職員組合として東北公務員共闘に連帯して、①全世代にわたる月例給の引上げや一時金の引上げ、②教職員の職務や生活実態をふまえた諸手当の改善、③再任用教職員の給与改善、④働き方改革の着実な推進、⑤均等待遇原則にもとづいた臨時・非常勤教職員等の給与引上げや休暇制度等の改善など、人勤期要求の実現にむけ、標記のネット署名にとりくむこととします。

みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。組合員以外の方にも声をかけてください。

インターネット(パソコン、スマートフォン)による署名をお願いいたします。

※署名にあたり、職場のパソコン等は使用しないでください。

※加盟組織は「日教組」を選択してください。

※所属する組合名は「福島県教組」と入力してください。

署名の受付期限は **7月4日(金)** までです。

ぜひご協力よろしくお願いいたします!

